

## 2021 年度第 3 回教育イノベーション大会運営委員会議事録

I. 日 時 令和 4 年 2 月 28 日 (月) 10 : 00 ~ 12 : 00

場 所 Zoom 会議室

II. 出席者 向殿委員長、二瓶委員、望月委員、大島委員、阿部委員、小林委員、菱山委員、  
寺田委員、尾崎トバ伊  
事務局：井端事務局長、野本

### III. 検討事項

1. 9 月 6 日~8 日に開催した「私情協 教育イノベーション大会」の振り返りについて、アンケートを確認し、以下のような意見があった

- ・ アンケートでは、概ね良かったとの評価であった。
- ・ 全体会については、大学教育での DX の必要性や DX 活用の具体的な様子を理解できた、オンライン活動が今後一般化されることを前提に、授業レベルでの具体的事例から教員自身の実践に活かしていく機会を大学全体で考えたいなどの意見があった。
- ・ 分科会については、DX の実際が理解できた、著作権法改正に関して昨今の関心に応えていた、リカレント教育の取組みが参考になった、AI 人材育成で講義内容の参考となるものや利用できるものを知ることができたなどの意見があった。
- ・ 発表会については、各大学の工夫や課題を知ることができた、データサイエンス教育の導入を考えることができた、専門分野の違う先生が一堂に会して授業改善の研究を発表し情報交換できる場は貴重などの意見があった。
- ・ 大学・企業による ICT 導入・活用事例紹介ビデオについては、休憩時間にも無駄がなく拝見できて良かった、分科会枠に企業紹介ブースを設けてもよいなどの意見があった。
- ・ 今後希望するテーマについては、DX、オンライン・ハイフレックスの実践と課題、AI・データサイエンス教育、学生のメンタルヘルス、著作権法改正、改正個人情報保護法、成績評価、認定制度、LMS 活用などの意見があった。

2. 2022 年度大会 3 日目発表募集要項について、案が提示され、検討を行い確定させた。

- ・ 発表内容の記述について意見があり、数理・データサイエンス・AI 教育を範囲に含める検討を行い、データサイエンス・AI の授業への応用、教育効果の測定と評価 (AI 活用を含む) という表現を追加することにした。
- ・ 発表方法は、Zoom での説明以外に、ビデオ発表も多かったことから二つの方式から選択させることにした。
- ・ 7 月末に委員会を開催し、発表者を確定させる予定が確認された。

3. 次年度の開催要項の案内方法変更について

- ・ 発表者募集要項を発送する際、来年度から紙での開催要項を郵送しないことを考えており、非加盟校に各種行事の開催を連絡するメールアドレスを教えてくださいをお願いをすることになっている。

### IV. 今後のスケジュール

来年度の「私情協 教育イノベーション大会」は、9 月 6 日~8 日で開催することになっている。